

総務常任委員会 管内視察報告

6月8日に実施した、総務常任委員会の管内視察の一部について、委員の感想を交え報告します。

① 神岡小学校

(3年生英語授業参観)

□平成32年度新学習指導要領より小学校3年生から英語教育が義務化される。円滑に実施されるために今年から移行期間として、英語の授業を実施しているもの。特にコミュニケーション能力の素地を育成することを目的としている。

○担任と英語指導講師の2人によるチームティーチング、4月から始め時間数も限られたわりに児童は英語よく理解し楽しそうに取り組んでいたことに感心した。今後、読み書きが必要になって、英語が嫌いにならない様な授業、指導および教員のスキルアップの取り組みを望む。



授業参観の様子

② 神岡小学校ICT

タブレット授業説明

□平成30、31年で市内全域の小中学校にタブレットが導入される。子どもたちの情報活用能力の育成を進められる。

○ICTもパソコンからタブレットに変遷していることを痛感した。ICT化が進んでも児童生徒同士のコミュニケーションがしっかりと取られるように注意してほしい。



城跡からの眺め

③ 高原諏訪城跡

昔、一本松と言われていた所である。土塁や堀切が残る、神岡市街地を見下ろせるその眺望に、江馬氏の繁栄ぶりを垣間見たような気がした。文化財として有効に活用するには、遊歩道と駐車場のさらなる整備が求められる。



タブレット操作の様子

④ 神岡学校給食センター

(学校給食試食)

食材の値上がり、食物アレルギー児童生徒の増加、アレルギー対象食物の増加などのなかで、美味しい給食を提供できるように日々努力されている。給食費の値上げ、職員の増員などを今後検討して頂きたい。

⑤ 深山邸

花街としての建物、神岡のにぎやかな時代を感じさせる歴史遺産として貴重な建物。利活用するには難しい面も多々あるが、地元住民の意見をよく聞きながら今後の展開を図っていく。

⑥ 宇津江グループホーム

障がいのある方が利用できるグループホームで、セキュリティもしっかりした素晴らしい施設である。飛騨市でもグループホームを計画されているが、利用者にとって使い勝手の良いものでなくてはならない。

(委員長 前川文博)

産業常任委員会管内視察報告は次号にて掲載します。

編集後記

岐阜県下に初めて「大雨特別警報」が発令された今回の災害。7月6日から大降りになった飛騨市は、市内各地に甚大な被害を受けました。鉄道・国道は寸断され、次々と市民に避難勧告・避難指示が出され、14年前を思い起こす状況が発生しました。

そんな中、我々議員はそれぞれ最寄りの地域の避難所や被災現場に駆け付け、危機管理と救援対策に一役担いたいと走り回りましたが、そこで見受けた職員は素晴らしいものでした。特に自警消防団員の皆様の行動には心底頭が下がり、感動の思いを抱きました。仕事を終え帰宅してから消防服に身を固め、避難箇所に駆け付け、役員の指示に従い統率をとりながら迅速に大雨の中で必死に救急・防災活動される姿に、飛騨市の「安心安全な生活」を根底で支えているのは誰かを確認する思いがしました。振りかえり、市民から議員として心底求められる行動とは何かを、改めて教えられました。

(中村 健 吉)